

委託事業実施内容報告書
令和2年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(A)】

実施内容報告書

団体名：一般社団法人磐田国際交流協会

1. 事業の概要

事業名称	多様性豊かで元気なまちづくりに資する日本語教育事業
日本語教育活動に関する地域の 実情・課題	<p>【地域に居住する外国人の実情】 磐田市の外国人人口は2019年11月末現在で8,325人、総人口の約4.9%を占め、日本人の人口減少も相まって、一年間で約0.3%増加した。2020年3月末現在では8,567人、割合は約5.1%となり、更に増加が進んだ。国籍別では、ブラジルが57%(1パーセント増加)、フィリピンが14.5%(0.1%増加)で、ベトナム、中国、インドネシアと続き、ベトナム人住民の割合増加の傾向が続いている。在留資格別では、永住者が38%、定住者が31%で技能実習、日本人の配偶者と続く。ここ一年間ではブラジル人定住者の増加が目立つが、技能実習(1, 2号)や、技術・人文知識・国際業務、技能実習3号も増えており、日本語教育に対するニーズが多様化している。</p> <p>【日本語教育活動の現状】 市内5カ所で日本語教室を実施。対話を中心とした活動(以下、「対話活動」という。)を基盤に、地域の機関・団体等と連携して行動・体験を中心とした活動(以下、「行動体験活動」という。)に取り組んでいる。 文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラム(B)を過去通算4年間実施した実績により、幅広い連携体制を安定的に維持している。 外国人学習者と共に参加する地域防災訓練や文化祭、夏まつり等は、地元の方から参加を期待されるまでになり地域に根づいた活動となっている。 更に「日本語スタートクラス」では、病院、クリニック、行政、消防署、地域交流センター、市民団体、県国際交流協会、店舗等、様々な機関・団体・専門家の協力を得て積極的に行動体験活動を実施し、ブラジル人学習者のある程度の定着を実現することができた。 2019年度から実施している「LaLa日本語教室」でも、ららぽーと磐田内での教室開催という利点を活かし、施設や店舗の協力で、総合受付で質問をしたり、店舗で店員とのやりとり等、教室の中に留まらない活動を行っている。</p> <p>【日本語教育活動を行う上での課題】 ・外国人人口に比べて、教室を訪れる外国人の数はまだまだ少ない。これまで情報が届いていなかった人に届ける工夫と、多くの外国人に足を運んでもらうアイデアが必要。 ・日本語教室の維持と発展のためには、継続的に日本語支援者を増やしていかなければならない。 ・日本語レベルが初級の方の継続が難しい。初級の学習者に対応できる教室環境づくりが必要。 ・「日本語スタートクラス」以外では、行動体験活動の実施頻度が少ない。行動体験活動を取り入れやすくする環境整備と働きかけが必要。 ・外国人労働者受入れ拡大の流れの中で、企業との連携強化を図っていく必要がある(外国人参加者募集・学習内容・運営資金)。</p>
事業の目的	地域の連携体制と対話活動・行動体験活動を基盤に、参加者の募集方法を工夫し、初級レベルの学習者にも対応できる教室環境を整えることで、より多くの外国人の参加と日本語学習の継続を促す。同時に活動には「生活者としての外国人」の生活課題の解決につながるものや、地域の多文化理解を促進する活動を取り入れて、誰もが地域社会で自分らしくより豊かに生活できることを目指す。
本事業の対象とする空白地域の状況 (空白地域を含む場合のみ記入)	
	<p>【日本語教育の実施】 市内5カ所(②、⑤はオンラインのみで開催)で、日本語教室を実施した。 ①西貝教室、②LaLa日本語教室、③竜洋教室、④ワークピア教室、⑤日曜オンライン教室</p> <p>各教室に外国人参加者のニーズに合わせたクラスを設置した。 ①西貝教室:対話クラス、レベル別クラス、子どもクラス ②LaLa日本語教室:対話クラス ③竜洋教室:対話クラス ④ワークピア教室:対話クラス、日本語スタートクラス、レベル別クラス、子どもクラス ⑤日曜オンライン教室:対話クラス</p> <p>(特徴) ・新型コロナウイルスの感染拡大により、外部団体と連携した防災訓練や地域のイベントへの参加等ができなくなり行動体験活動を取り入れることは難しかったが、教室での対話活動で防災や病院へのかかり方、給付金申請書の書き方等について学んだり、外部講師を招き新型コロナウイルスについて学ぶ回を設けたりするなどして、外国人生活者の生活課題の解決につながる活動を行った。 ・外国人住民コーディネーターを配置することで、日本語レベルが初級の学習者の不安感を和らげたり、学習内容について外国人学習者側からの希望や意見を反映させやすくし、日本語学習を継続しやすい環境を整えた。</p> <p>(参加者募集の工夫) ・日本語教室の活動の様子を外国人住民コーディネーターを中心にSNS等を利用して多言語で発信し、外国人参加者と日本人参加者の増員につなげた。 ・外国人住民コーディネーターのネットワークを活かし、教室の周知を行った。</p> <p>【日本語教育を行う人材の養成・研修の実施】 A. 日本語ボランティア養成講座2020 対話活動のプログラムを作成して進行する人材と、対話の相手となる補助者を養成し日本語支援者を増やした。 第1回 日本語教室見学・オリエンテーション 第2回 地域の多文化共生 第3回 地域日本語教室の在り方と日本語ボランティアの役割 第4回 実践1(対話活動補助者の体験) 第5回 対話活動の計画の立て方 第6回 対話活動の計画を立てる 第7回 実践2(対話活動進行役の体験) 第8回 振り返り・今後の活動について</p>

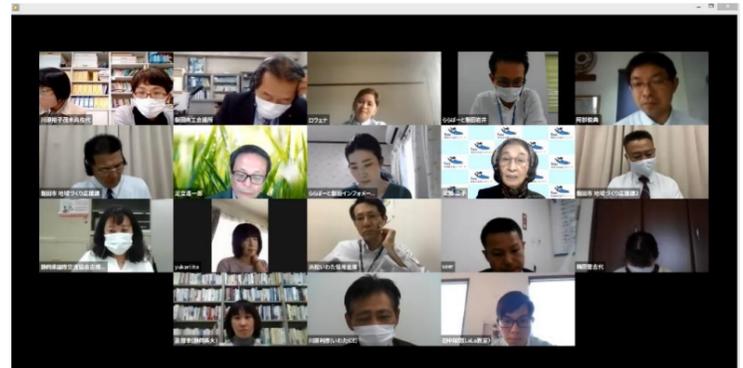
事業内容の概要	<p>※2012年度に作成した教材「磐田地域日本語教室対話活動のための教材 にほんごでおしゃべりしよう!」を活用した。講座を通して、多文化共生のまちづくりの意識を醸成し、外国人に対して「教える」ではなく「学び合い、共に作る」姿勢を持って、対話活動を実践できる人材を養成し、日本語支援者の不足の解消と活動内容の更なる充実を目指した。</p> <p>(特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな場で活動するのかイメージを持って学ぶため、初回に日本語教室の動画を視聴し、オリエンテーションで磐田の外国人の状況や磐田の日本語教室の目指すところを学んだ。 ・対話活動とはどういうものかをまず体験するため、第4回で「実践1(対話活動補助者の体験)」を行った。 ・講座修了後にスムーズに教室活動に参加できるよう、対話活動の案を作成し実際の教室で授業を行う実践を取り入れた。 <p>(参加者募集の工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者募集の際、退職教職員関係団体を通して元教員に向けて募集チラシを配布した。 ・今後の活動の継続を見据え、若い参加者も増やすため、大学、高校等の機関に募集チラシ配架を依頼した。 <p>B. 日本語支援者スキルアップ講座+情報交換会</p> <p>これまでの日本語教室の活動の中で支援者から出てきた「日本語が初級レベルの学習者への対応が難しい」という課題を解決するため、講座の受講によって学習者とのコミュニケーション力や活動を促進する場づくりの力を高めた。また、情報交換会を設け、各教室での課題や取り組みについて支援者が共有することで、課題解決や改善につなげた。</p> <p>第1回 日本語教室でのコミュニケーションスキル 第2回 対話活動の進行役と補助者の役割 第3回 ファシリテーション講座 第4回 ふりかえり、情報交換会</p> <p>(特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに活動している支援者の困り感を解消し、さまざまなレベルの学習者に対応できる教室を目指した。 ・日本語ボランティア養成講座の受講者も、養成講座と合わせて受講できる内容とした。 <p>(参加者募集の工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の支援者、養成講座の受講者に直接募集チラシを配布した。 <p>【日本語教育のための学習教材の作成】</p> <p>2018年度に作成し、2019年度に修正を加えた教材「にほんごでおしゃべりしよう! Part3 行動体験の活動のための教材 街に出よう! 人と出会おう! -活動例集-」の整備・拡充を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教室で「にほんごでおしゃべりしよう! Part3 行動体験の活動のための教材 街に出よう! 人と出会おう! -活動例集-」を参考に行動体験活動を行い、教材案の追加・差替えを行った。 ・学習記録のフォーマットを検証し、より良い使い方を取り入れた。 ・対面での教室が開催できないときに取り入れたオンラインでの活動を教材に盛り込んだ。 ・各教室の進行役や教室コーディネーターから外部講師への依頼がしやすいよう、連携機関のリストを作成した。
事業の実施期間	令和2年5月～令和3年3月 (11か月間)

2. 事業の実施体制

(1) 運営委員会

【運営委員】

1	米勢 治子	東海日本語ネットワーク・副代表
2	高畑 幸	静岡県立大学国際関係学部・教授
3	古橋 哉子	(公財)静岡県国際交流協会・主幹
4	村上 勇夫	磐田市自治会連合会・会長
5	堀崎 慎一	浜松いわた信用金庫・理事・SDGs推進部長
6	平野 利直	平野ビニール工業株式会社・代表取締役
7	阿部 俊典	太平工業株式会社・総務課 課長
8	岩井 崇行	三井不動産商業マネジメント株式会社(ららぽーと磐田)・所長代理
9	鈴木 隆之	磐田商工会議所・専務理事
10	磯部 公明	磐田市地域づくり応援課・課長



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	令和2年7月27日 (月) 13:00~15:00	2時間	オンライン(Zoom)	【運営委員】阿部俊典, 岩井崇行, 鈴木隆之, 高畑幸, 平野利直, 古橋哉子, 堀崎慎一, 村井智和(磯部公明課長代理), 村上勇夫, 米勢治子 【オブザーバー】足立進一郎, 伊藤ゆかり, 加藤千晴, 川原利彦, 楠田登志代, 田中琢間, 津村タチアナ美恵子 【事務局】川添裕子, 茂木眞佐代	1. 令和2年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業概要説明 2. 各教室の実施状況と課題及び今後の活動計画について 3. 意見交換 ・オンラインでの試行錯誤は記録するとよい。他の教室でも役に立つ内容になる。 ・外国人住民コーディネーターの役割は大きい。 ・企業が求める日本語レベルについて。職場によってさまざま。日本人社員も共に学び合うのが望ましいあり方。 ・コロナで日本語教育の重要性がみえてきた。事業を更に良くするためにも話し合うテーマを整理して。
2	令和2年11月2日 (月) 13:00~15:00	2時間	オンライン(Zoom)	【運営委員】阿部俊典, 磯部公明, 岩井崇行, 鈴木隆之, 高畑幸, 平野利直, 古橋哉子, 堀崎慎一, 米勢治子 【オブザーバー】足立進一郎, 伊藤ゆかり, 加藤千晴, 川原利彦, 楠田登志代, 田中琢間, 高橋ロウエナ, 村井智和 【事務局】川添裕子, 茂木眞佐代	1. 報告 ・日本語教室と関連する事業の実施状況 ・日本語ボランティア養成講座 経過報告 ・日本語支援者スキルアップ研修 募集開始 ・その他(フェイスシールドの寄付) 2. 各教室の実施状況と課題及び今後の活動計画について 3. 意見交換 ・コロナの状況は落ち着いておらず、規制が少なくなっているだけなので、臨機応変に対応できるようにしておいた方がよい。 ・コロナで日本語初心者の方が仕事が無くなり教室への参加が増えている。この支援に注力する必要がある。 ・日本語レベルでクラスを分けてはどうか。 ・コロナで生活基盤がもともと弱い人たちがより弱い立場になる。教室にアクセスできない外国人の孤立化をふせぐためにも、オンラインの良し悪しはあるが、日本人とつながる環境を用意することが大事。

3	令和3年3月1日 (月) 13:00~15:00	2時間	オンライン(Zoom)	<p>【運営委員】阿部俊典, 岩井崇行, 鈴木隆之, 高畑幸, 平野利直, 古橋哉子, 堀崎慎一, 村上勇夫, 森優也(磯部公明課長代理), 米勢治子</p> <p>【オブザーバー】足立進一郎, 伊藤ゆかり, 加藤千晴, 川原利彦, 楠田登志代, 高橋ロウエナ</p> <p>【事務局】川添裕子, 茂木眞佐代</p>	<p>1. 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語教室の現在の実施状況について ・日本語ボランティア養成講座 実施報告 ・日本語支援者スキルアップ研修 実施報告 ・教材作成 ・アンケートの実施 <p>2. 各教室の実施状況と課題及び今年度の振り返りについて</p> <p>3. 今年度の総括および今後の方向性について意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者の継続については外国人住民コーディネーターが普段のコミュニケーションから感じ取ったことをスタッフと共有, 相談するのが良い。学習者が流動的なのは当たり前なので, 活動の質(目的に合った内容)にこだわって。 ・オンライン対応は一時しのぎなのか質を保つのか, 方針を共有すべき。 ・地域課題の解決を目的として, 企業や市との連携も考えていくことが必要。
---	--------------------------------	-----	-------------	--	---

(2) 地域における関係機関・団体等との連携・協力

連携体制	<ul style="list-style-type: none"> ・磐田市外国人情報窓口の協力を得て, 入国・転入者及び相談者等に日本語教室の情報を周知することで, 外国人の参加を促進した。 ・静岡県西部保健所、磐田市総合病院の協力で, 新型コロナウイルス感染症について外国人市民への情報提供や啓発をしてもらうことにより, 外国人参加者が健康かつ安全に生活を送ることができるようにした。 ・「日本語ボランティア養成講座」の実施に当たり, 静岡県立大学, 東海日本語ネットワークから講師を招き, 人材養成につなげた。 ・「日本語ボランティア養成講座」の受講者募集の際, 静岡県退職女性教職員の会磐周支部, 静岡産業大学, 磐田市内高校を通して募集チラシを配布した。 ・「日本語支援者スキルアップ講座」の実施に当たり, 千葉市国際交流協会, 日本ファシリテーション協会, とよた日本語学習支援システム
------	---

(3) 中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本事業の実施体制	<p>【日本語教育の実施】</p> <p>東海日本語ネットワーク 副代表 米勢治子 アドバイザー 川添裕子 コーディネーター(教室間調整, 指導者・補助者配置, 相談・助言, 日本語支援者の指導・助言, 新規学習者対応), 事務作業担当, 指導者 足立進一郎 ワークピア教室コーディネーター(教室運営・活動企画), 指導者 伊藤ゆかり 竜洋教室コーディネーター(教室運営・活動企画), 指導者 楠田登志代 西貝教室コーディネーター(教室運営・活動企画), 指導者 田中琢問 LaLa日本語教室コーディネーター(教室運営・活動企画), 指導者 カルドーゾ多美 LaLa日本語教室外国人住民コーディネーター 高橋ロウエナ ワークピア教室外国人住民コーディネーター 立花チアゴ・ミツオ ワークピア教室外国人住民コーディネーター 津村美恵子 西貝教室外国人住民コーディネーター 中里キヨミ 西貝教室外国人住民コーディネーター 袴田千里 ワークピア教室外国人住民コーディネーター 村岡ジョルジ 竜洋教室外国人住民コーディネーター ラミレス・ステファニー 竜洋教室外国人住民コーディネーター</p> <p>磐田市地域づくり応援課 ワークピア教室、ボランティア養成講座の会場の確保 磐田市外国人情報窓口 日本語教室参加者募集チラシ配布 行政機関(ごみ対策課, 危機管理課, 福祉課, 自治会担当課, 健康増進課, 市立病院医事課, 学校教育課, 市立図書館, 磐田財務事務所等) 対話活動・行動体験活動の講師</p> <p>【日本語教育を行う人材の養成・研修の実施】</p> <p>A. 日本語ボランティア養成講座</p> <p>静岡県立大学国際関係学部 教授 高畑幸 「地域の多文化共生」講師 東海日本語ネットワーク 副代表 米勢治子 「地域日本語教室のあり方と日本語ボランティアの役割」講師 LaLa日本語教室 コーディネーター 田中琢問 「活動計画の立て方」講師 川添裕子 コーディネーター(企画・運営, 連携交渉・調整), 事務作業担当, 「教室見学・オリエンテーション」「対話活動の進行役とは」「活動計画の立て方」「活動計画を立てる」「振り返り・今後の活動について」講師</p> <p>B. 日本語指導者スキルアップ研修+情報交換会</p> <p>(公財)千葉市国際交流協会 委嘱日本語コーディネーター 萬浪絵理 「日本語教室でのコミュニケーションスキル」講師 NPO法人日本ファシリテーション協会フェロー 鈴木まり子「参加型の学びを促進するファシリテーション講座」講師 刈谷市国際交流協会 教室コーディネーター 岡部真理子「対話活動の進行役と補助者の役割」講師 川添裕子 コーディネーター(企画・運営, 連携交渉・調整), 事務作業担当, 「振り返り・情報交換会」講師</p> <p>【日本語教育のための学習教材の作成】</p> <p>執筆者 川添裕子, 氏原初美, 立花・チアゴ・ミツオ, 田中琢問</p>
----------	---

3. 各取組の報告

日本語教育の実施【活動の名称：多文化共生のための日本語教室】										
取組の目標	「生活者としての外国人」の生活課題の解決・キャリアアップ・参加者相互理解を促進する対話活動及び行動体験活動を通じて、「生活者としての外国人」のエンパワーメントと更なる社会参加を目指す。									
内 容	<p>市内5カ所(②, ⑤)はオンラインのみで開催)で、日本語教室を実施した。 ①西貝教室, ②LaLa日本語教室, ③竜洋教室, ④ワークピア教室, ⑤日曜オンライン教室</p> <p>各教室に外国人参加者のニーズに合わせたクラスを設置した。 ①西貝教室: 対話クラス, レベル別クラス, 子どもクラス ②LaLa日本語教室: 対話クラス ③竜洋教室: 対話クラス ④ワークピア教室: 対話クラス, 日本語スタートクラス, レベル別クラス, 子どもクラス ⑤日曜オンライン教室: 対話クラス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話クラスと日本語スタートクラスでは、生活課題の解決に関わるテーマをとり入れた。 ・各教室に外国人住民コーディネーターを配置することで生活課題や日本語学習についての相談がしやすい環境をつくり、日本語初級レベルの学習者の継続参加が増えた。外国人住民コーディネーターのネットワークを学習者の募集にも活かし、教室の情報をより多くの人に届けた。 ・対話活動と行動体験活動を行う際には、外国人参加者のニーズに合わせて「生活課題の解決」「相互理解」「キャリアアップ」「社会参加」の目的別にトピックやテーマを選定した。 ・LaLa日本語教室では、ららぽーと磐田館内の会場が新型コロナウイルス感染症の影響で使用ができなくなったため、オンラインでの対話活動を行った。会場使用許可を待っていたが3月まで許可が出ず、年間通してオンラインでの活動となった。 ・1月24日以降は、市内で感染者が増えたため、対面で行っていた教室も中止として、日曜午後に開催していた3教室合同の「日曜オンライン教室」を立ち上げ、オンラインでの対話活動を行った。 <p>教室コーディネーターミーティングの実施 1回2時間×3回 日本語教室の目標の理解を深め、教室間の活動のばらつきを解消し、よりよい日本語教育環境を整備するために教室コーディネーターミーティングを実施した。 第1回 日本語教室の目標の確認, 今年度の事業計画説明, 「カリキュラム案等」の活用の仕方, 「にほんごでおしゃべりしよう! Part3 行動体験の活動のための教材 街に出よう! 人と出会おう! -活動例集-」(2018年度作成)の活用と内容更新について, 外国人住民コーディネーターの役割について, コロナ感染防止対策とオンライン等の活動方法について, 意見交換 第2回 行動体験活動の実施状況, 教室活動の改善, 情報交換 臨 時 市内でのコロナ感染者増加に伴い, 対面活動継続かオンラインに変更するか協議 オンラインで開催するための方法検討 第3回 今年度の振り返り, 次年度につなげるための意見交換</p>									
実施期間	令和 2 年 5 月 31 日～令和 3 年 3 月 14 日	授業時間・コマ数	1回 1.5時間 × 31回 = 46.5時間 1回 2.0時間 × 57回 = 114.0時間 総計 160.5時間							
対象者	生活者としての外国人	参加者	総数 344人 (受講者 255人, 指導者・支援者等 89人)							
カリキュラム案活用	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活上の行為達成の記録」を使ってニーズ把握をした。 ・「能力記述の一覧」を参考にして学習目標を立てた。 ・「生活上の行為の事例」を参考にしてトピックやテーマを選定した。 ・「教材例集」を参考にして活動計画を立てた。 ・「教室活動の記録」や「毎回の学習の記録」を参考に振り返りシートを作成した。 ・「ガイドブック」を参考にして教室活動を見直した。 									
使用した教材・リソース	磐田対話教材「にほんごでおしゃべりしよう!」, 行動体験の活動のための教材「街に出よう! 人と出会おう!」, 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案・教材例集, 定額給付金申請説明書, 磐田市防災ガイドブック, 標識のイラスト, 文化紹介カード, メッセージ用紙, 市内地図, 旅行パンフレット, 磐田市立総合病院作成新型コロナウイルス資料, 西部保健所作成チラシ, 写真, イラストカード, 進行役作成のパワーポイント資料, 今日の目標やテーマ等を書いた自作のフリップ, 補助者意見シート, ふりかえりシート, 学習記録等, にほんごこれだけ1, 2(コ出版), 実用ビジネス日本語(アルク), 自作プリント, もうぶ動詞カード, 形容詞カード, 漢字マスターN4,N3,N2(アークアカデミー) 【子ども】はまっこテキスト, 絵本, 各学年教科書やドリル問題集, 図書室にある本, 辞書, 辞典, 図鑑など日本語で暮らそう, 初級で読めるトピックス, 新聞(時事記事)季節ごとの情報など, メウアミーゴ									
受講者の出身(ルーツ)・国別内訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本
	14	1	111	39	0	4	19	15	36	0
アルゼンチン(5人), インド(4人), カンボジア(1人), スリランカ(1人), 台湾(3人), ベネズエラ(1人), ヨルダン(1人) ※すべて実人数										

日本語教育の実施内容【西貝教室】

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名
1	令和2年05月31日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	15	余暇を楽しむ(ステイホーム編)	円になり、自己紹介をする。 ゲーム(とんとん名前)お題は、果物と動物 今日の内容の説明と例。その時、難しい単語や言い回しも説明。 まずは、各自で密にならないように、外国人コーディネーターや補助者のサポートによって、自分の文章を作る。全員で共有する。	石橋広子,楠田登志代(謝金無し),津村・タチアナ・美恵子(外Co.),中里キヨミ(外Co.),仲田明子,森西尊子	石岡千鶴子,福田由美子
2	令和2年06月07日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	11	「とくい料理はなんですか」	ゲーム(間違い探し) 間違いの内容をみんなに伝える。 好きな料理を考え材料・作り方を伝える・例題をあげて説明~材料・動作(煮る・ゆでる・炒める・焼く・揚げる等のイラストの提示)	石橋広子,楠田登志代(謝金無し),中里キヨミ(外Co.),森西尊子	石岡千鶴子,大場睦子,仲田明子,中山緑,福田由美子
3	令和2年06月14日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	11	医者に症状を伝えよう	ゲーム(体の部位の名前) 日本の薬局,診療所,病院の簡単な説明を行う。各診療科の名前を説明。問診票を書く。受診時のロールプレイを行う。密にならないよう各テーブルに参加者1名ずつ,グループワークは無し。	石岡千鶴子,石橋広子,津村・タチアナ・美恵子(外Co.),森西尊子	大場睦子,仲田明子,福田由美子,中山緑
4	令和2年06月21日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	10	ゴミの分別	1, 受講者を日本語レベルでグループ分け, 外国人コーディネーターと内容を事前に説明する。(簡単に) 2, 体をほぐすストレッチ(2種類) 3, 今日の内容の説明, 黒板にゴミの種類(可燃ごみ・不燃ごみなど)を提示して, 言葉の意味や読み方の説明。 各グループで, 自分たちの国のゴミ出しとの違いなどを話しあう。発表。 ゴミ分けゲームのプリントを使って, 各グループで色々なごみ分け。答え合わせ。 一人ずつロールプレイ「わからないことを, 近所の人へ聞いてみよう」。 質疑応答, 今日のまとめの発表	石橋広子,仲田明子,中里キヨミ(外Co.),森西尊子	石岡千鶴子,大場睦子,楠田登志代,中山緑
5	令和2年07月05日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	15	七夕をしよう	ゲーム:体を使ってじゃんけん 日本の行事である七夕の由来を話す。 自国の夏の行事をグループで話し発表する。 日本の七夕の紙芝居を聞く(わからない言葉はメモしあとでスタッフに聞く) 自分の願い事・ほしいものを短冊に書く みんなに発表し笹につける	石橋広子,大場睦子,楠田登志代(謝金無し),津村・タチアナ・美恵子(外Co.),森西尊子	石岡千鶴子,川添裕子,仲田明子,中山緑,福田由美子
6	令和2年07月12日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	11	119番通報をしてみる。	ゲーム:影絵探し 導入で日本の緊急ダイヤルをくわしく説明。モデル会話を聞いた後, グループ対話。ロールプレイ, 火事に備えていること, 防災訓練の紹介。 学習確認シートの記入, ふりかえり	大場睦子,楠田登志代(謝金無し),中里キヨミ(外Co.),森西尊子	仲田明子,中山緑
7	令和2年07月19日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	10	台風にならえよう	ゲーム:ストレッチ, 指回しゲーム これまでに経験した災害を発表。 防災ガイドブック5か国語版をもとに, 気象庁の注意報・警報, 市の避難情報を説明。 ①台風が来たら困ること②何で台風の情報を得るか③防災用品一覧表の中で台風の時用意しておくといものについて各自で考え, グループワークを行う。 全体で発表, 学習確認シートの記入。	石岡千鶴子,石橋広子,楠田登志代(謝金無し),津村・タチアナ・美恵子(外Co.),森西尊子	仲田明子,中山緑
8	令和2年09月06日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	5	簡単な自己紹介	朝, 昼, 晩のあいさつの仕方を学ぶ 初対面の人へのあいさつの仕方を学ぶ 自分の名前と住んでいるところを相手に伝える 家族や好きな食べ物を相手に伝える 月の名前と曜日を理解し, 自分の誕生日を相手に伝える	楠田登志代(謝金無し),中里キヨミ(外Co.),中山緑	石岡千鶴子,大場睦子,仲田明子

9	令和2年09月13日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	11	町を紹介しよう	頭のストレッチ・ゲーム(スリーヒントゲーム) 提示:磐田市の情報を伝える。(位置, 特産物, スポーツ等)内容に出てくる言葉や意味を説明する。 グループ対話:各グループで磐田市や自分の国を紹介する文章を考える。 自己紹介をしながら発表して共有する。 確認シート記入	石橋広子,楠田登志代(謝金無し),津村・タチアナ・美恵子(外Co.),仲田明子,森西尊子	大場睦子,中山緑
10	令和2年09月27日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	7	ふるさとについて話そう	ゲーム:じゃんけんゲーム 間違い探し(10個)間違っているところを説明する グループで,自分の国,町,「日本から飛行機で○時間かかる」有名なもの・自慢したいものについて話す 全体で発表,ふり返りシートの記入	石橋広子,楠田登志代(謝金無し),中里キヨミ(外Co.),森西尊子	石岡千鶴子,大場睦子,中山緑
11	令和2年10月11日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	10	何を食べますか	ゲーム:サイコロゲーム 導入で日本の食べ物文化,家庭での食生活,外食のいろいろを紹介する。 グループで会話したあと,ロールプレイで,和食のお店での,注文と支払いをやってみる。 ふりかえりシートに記入。	石橋広子,大場睦子,楠田登志代(謝金無し),津村・タチアナ・美恵子(外Co.),森西尊子	石岡千鶴子,仲田明子,中山緑
12	令和2年10月18日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	13	磐田の町でインタビュー	ゲーム:誰がいちばん長いかなゲーム(ちぎった新聞の長さ比べ) 磐田の町行く人に今からどこへ出かけるかのインタビューをするという形式の①見本を見せる②見本に沿った会話をグループワークで作成する。③最後にロールプレイを行う。	石橋広子,石岡千鶴子,楠田登志代(謝金無し),中里キヨミ(外Co.),森西尊子	大場睦子,仲田明子,中山緑
13	令和2年10月25日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	7	簡単な日本語	ゲーム:じゃんけん ひらがな50音を双六のマスに書き,止まった文字ではじまることばを学習者が考える。出て来たことばを起点に簡単な反意語や,同音異義語の意味を説明したり,お互いの文化の話に広げる。	石橋広子,楠田登志代(謝金無し),津村・タチアナ・美恵子(外Co.),中山緑,森西尊子	石岡千鶴子,大場睦子,仲田明子
14	令和2年11月08日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	7	人について話す(初心者は自分の事を話す)	ゲーム(ひらがなビンゴ)~16字のひらがなカードを使って,ビンゴゲーム。 今日のテーマと例題の説明。まず,人に伝えたい人を決める。(家族や友達) 各グループで,プリントに従って文章を作る。 その後,全員で共有する。	楠田登志代(謝金無し),津村・タチアナ・美恵子(外Co.),仲田明子,森西尊子	石岡千鶴子,大場睦子,中山緑
15	令和2年11月15日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	7	ひらがな,自己紹介	ゲーム:じゃんけん ひらがなビンゴを行う 自己紹介を覚える 発表,ふり返りシートの記入	石橋広子,大場睦子,楠田登志代(謝金無し),中里キヨミ(外Co.),森西尊子	石岡千鶴子,仲田明子,中山緑
16	令和2年11月22日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	14	日本に来ておどろいたこと	ゲーム:後出しじゃんけん 進行役が海外に行ったときに驚いたことを提示したあと,学習者が日本で驚いたことをグループで話す。グループごと発表,ペア対話,学習確認シート記入を行う。	石橋広子,楠田登志代(謝金無し),中里キヨミ(外Co.),森西尊子, 【以下3名日本語ボラ養成講座実習・謝金無し】阿部歩,廣永紗保里,安西碧	石岡千鶴子,大場睦子,川添裕子,鈴木琴子,仲田明子,中里キヨミ,中山緑
17	令和2年12月06日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	10	日本人が日常生活でよく使う表現や挨拶	19の場面のあいさつをペアで行う 国のあいさつとの違いなどを,各グループで,会話 ロールプレイ その他のあいさつ表現の紹介 学習シートの記入	石橋広子,大場睦子,楠田登志代(謝金無し),津村・タチアナ・美恵子(外Co.),森西尊子	石岡千鶴子,仲田明子
18	令和2年12月13日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	15	今年のわたしの3大ニュース	ゲーム:紙飛行機づくり ①今年の自分ニュースのために出来事を探し簡条書きにする。②グループで発表しあい,質問しあって内容を膨らませる。③ニュースの形にまとめる。④発表する。	石岡千鶴子,石橋広子,楠田登志代(謝金無し),中里キヨミ(外Co.),森西尊子	大場睦子,仲田明子,中山緑

19	令和2年12月20日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	15	コロナ感染対策、 新年の抱負	前半: コロナ感染予防について、基礎知識を学ぶ 質疑応答 後半: 新年のあいさつの仕方 新年の抱負を考え、「～したいです」という表現を使って、発表。	石橋広子,川添裕子1h,楠田登志代(謝金無し),小嶋由美(外部講師:静岡県西部保健所医療健康部長/保健師・謝金無し)中里キヨミ(外Co.),中山緑,森西尊子	石岡千鶴子,大場睦子,仲田明子,福田由美子
20	令和3年01月17日(日) 14:00-16:00	2	西貝交流センター	11	日本語でQ & A	新年のあいさつゲーム(間違い探し・・・お正月編) 日本語でQ&A 参加者の人にナンバーをつける。(1~6)新年にかかわる質問を含め12の質問を用意する。 さいころを振って(コロナ予防のため進行役が行う。)質問する人・答える人を決め、質問をしあう。	石橋広子,楠田登志代(謝金なし),津村・タチアナ・美恵子(外Co.),仲田明子,森西尊子	石岡千鶴子,大場睦子,加藤純子,福田由美子,中山緑

日本語教育の実施内容【LaLa日本語教室】

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名
1	令和2年06月13日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	7	Stay Home	最近の過ごし方、楽しいこと、残念なことについてグループで話し合い、発表をする。	カルドーゾ多美(外Co.),田中琢問	伊藤ゆかり,氏原初美,大石佳典,川添裕子,鈴木昌世,茂木眞佐代,福田由美子,矢野美佳
2	令和2年06月27日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	7	これからやりたいこと	これからやりたいことというテーマでグループ対話を行い、学習者のみが全体で発表。	カルドーゾ多美(外Co.),田中琢問	大石佳典,川添裕子,川本啓,(鈴木昌世~14:20),栗田叔子,鈴木ゆみ,茂木眞佐代,福田由美子,矢野美佳
3	令和2年07月11日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	10	自己紹介	「自己紹介」というテーマでグループ対話を行い、学習者のみが全体で発表。	カルドーゾ多美(外Co.),鈴木ゆみ(謝金無し),田中琢問	大石佳典,加茂満里奈,加茂礼子,木村泰子,栗田叔子
4	令和2年07月25日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	6	この夏を乗り切ろう	「この夏を乗り切ろう」というテーマでグループ対話を行い、補助者を含む全員が発表。その後全体で感想を共有。	カルドーゾ多美(外Co.),川添裕子,田中琢問	大石佳典,岡部真理子,加茂真里奈,加茂礼子,カルドーゾ多美,木村泰子,栗田叔子,澤野孝光,得永美穂
5	令和2年08月08日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	11	防災について考えよう!	「防災について考えよう」というテーマでグループ対話を行い、学習者のみが発表。ハンカチマスク作りを一緒に行う。その後全体で感想を共有。	カルドーゾ多美(外Co.),鈴木ゆみ(謝金無し),田中琢問	渥美久美子,氏原初美,大石佳典,太田令子,大庭満美子,加茂真里奈,加茂礼子,茂木眞佐代,米勢治子
6	令和2年08月22日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	9	私の出身地	「私の出身地」というテーマでグループ対話を行い、学習者のみが発表。ペア対話を実施。その後全体で感想を共有。	カルドーゾ多美(外Co.),鈴木ゆみ(謝金無し),田中琢問	大庭満美子,大石佳典,加茂真里奈,加茂礼子,栗田叔子,津村美恵子,福田由美子,村上ナオキ
7	令和2年09月12日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	9	おいしい食べ物	旬の食べ物、に関する話を軸にグループで対話を行う。その後全体で共有をする。	カルドーゾ多美(外Co.),田中琢問,村上ナオキ	大石佳典,加茂真里奈,加茂礼子,川添裕子,栗田叔子,千葉月花,津村美恵子,【以下3人ボラ養成講座実習】石田明子,小田進,舟津碧
8	令和2年09月26日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	8	好きな○○	好きなもの、ことに関する話を軸にグループで対話を行う。その後全体で共有をする。	カルドーゾ多美(外Co.),川添裕子,田中琢問	大石佳典,加茂真里奈,加茂礼子,鈴木ゆみ,津村美恵子,根津敏之,【以下4人ボラ養成講座実習】阿部歩,鈴木友美,村松靖子,渡辺真帆
9	令和2年10月10日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	6	私の買い物	買い物の話を軸にグループで対話を行う。その後全体で共有をする。	カルドーゾ多美(外Co.),川添裕子,田中琢問	大石佳典,太田令子,加茂真里奈,加茂礼子,【以下ボラ養成講座実習】廣永沙歩里
10	令和2年10月24日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	8	イベント・お祭り	自国のお祭りやイベントに関するテーマで対話を行う。その後全体で共有をする。	田中琢問	氏原初美,太田令子,加茂真里奈,加茂礼子,栗田叔子,鈴木ゆみ

11	令和2年11月14日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	9	頑張っていること、 頑張りたいこと	アイスブレイク(自己紹介・ゲーム)後、 グループでそれぞれが頑張っていること や頑張りたいことについて話す。その後 全体で共有をする。	田中琢問,カ ルドーゾ多 美(外Co.), 【以下日本語 ボラ養成講 座実習・謝金 無し】大場こ ころ	大石佳典,加茂真理奈,加茂礼子, 川添裕子,栗田叔子,松浦祐子,茂 木眞佐代【以下日本語ボラ養成 講座実習】小田進
12	令和3年11月28日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	6	私の勉強方法	日本語やその他の勉強方法について提 示をし、グループでそれぞれの日本語 等の勉強方法についてグループで話 す。その後全体で、共有をする。	カルドーゾ多 美(外Co.),田 中琢問	加茂真里奈,加茂礼子,茂木眞佐 代,福田由美子,菰田小夜
13	令和3年12月12日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	4	年末のお祝い	年末、クリスマス等の行事についてグ ループで話し、その後全体で共有をす る。	カルドーゾ多 美(外Co.),田 中琢問	加茂真里奈,加茂礼子,福田由美 子
14	令和3年12月26日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	4	来年の目標	1年を振り返ったり、来年の予定につ いて提示をし、グループで話をする。そ の後全体でグループで話した内容を共有 する。	田中琢問	大石佳典,川添裕子,松浦祐子,茂 木眞佐代,矢野美佳
15	令和3年01月09日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	6	休みの過ごし方	全体で自己紹介、年末年始の過ごし 方、休みの日の過ごし方についてグ ループで話す。その後全体で共有。活 動終了前の振り返りで今日覚えた言葉 があれば共有。	カルドーゾ多 美(外Co.),田 中琢問	大石佳典,加茂真里奈,栗田叔子, 茂木眞佐代,福田由美子
16	令和3年01月23日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	4	わたしのオススメ	おススメの場所、物等についてグルー プで話す。その後全体で共有。	カルドーゾ多 美(外Co.),田 中琢問	石橋広子,氏原初美,大石佳典,大 場睦子,加茂真里奈,加茂礼子,楠 田登志代,松浦祐子,福田由美子
17	令和3年02月13日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	6	バレンタイン	バレンタインのトピックを中心に2月のイ ベント、エピソードについて提示、グルー プで話す。その後全体で共有。	田中琢問	加茂真里奈,加茂礼子,栗田叔子, 茂木眞佐代,福田由美子
18	令和3年02月27日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	5	日本語の難しいと ころ、面白いと ころ	日本語の難しいところ、面白いところ に関して動画共有、提示をする。その後、 グループで話し、その内容を全体で共 有する。	田中琢問	加茂真里奈,加茂礼子,栗田叔子, 坪田淳一,福田由美子,茂木眞佐 代
19	令和3年03月13日(土) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	6	丁寧な日本語	敬語等について動画を共有、提示をす る。その後、グループで話し、その内 容を全体で共有、意味を確認。	カルドーゾ多 美(外Co.),田 中琢問	加茂真里奈,加茂礼子,坪田淳一, 矢野美佳,川添裕子

日本語教育の実施内容【竜洋教室】

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名
1	令和2年06月07日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流セ ンター	14	コロナ禍での生活	・最近の仕事・STAY HOMEの様子、心 配なことを話す ・特別定額給付金の申請について確認	伊藤ゆかり, 村岡ジョルジ (外Co.),ラミ レス・ステ ファニー(外 Co.)	大石佳典,大橋武一,川添裕子,木 村泰子,山田典嗣
2	令和2年06月14日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流セ ンター	9	料理(調味料)	①日本料理のレシピ紹介 ②日本の調味料の紹介 ③話す内容の例を提示	伊藤ゆかり, 大石佳典,村 岡ジョルジ (外Co.)	大橋武一,岡本千佳子,木村泰子, 藤田純子,山田典嗣
3	令和2年06月21日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流セ ンター	8	季節を知ろう	この地域の季節の特徴やどんなことが 行われているか知ったり、自分の国の 季節の特徴や行事など、お互いに話し て理解を深める。 ・日本の四季で好きな季節・理由を話 す。 ・自分の国の季節・行事について話す。	伊藤ゆかり, 山田典嗣,ラ ミレス・ステ ファニー(外 Co.)	大石佳典,大橋武一,木村泰子,藤 田純子
4	令和2年07月05日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流セ ンター	12	物の数え方	・身近な物の数え方を説明 ・センター内を移動して物の数え方を 言ったり、覚えたりする	伊藤ゆかり, ラミレス・ス テファニー (外Co.)	遠藤康彦,大石佳典,大橋武一,木 村泰子,藤田純子,山田典嗣,山田 勇翔
5	令和2年07月19日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流セ ンター	13	店員との会話	①ねらい、目標の提示 ②コンビニ店員と客の会話をロール・ブ レイニングで見せる ③弁当を温める？、ポイントカードあ る？、レジ袋が有料、おしぼりは1枚・箸 は1膳などの数え方の説明 ③話す内容の例を提示	伊藤ゆかり, 大石佳典,村 岡ジョルジ (外Co.)	遠藤康彦,大橋武一,木村泰子,藤 田純子,山田勇翔,吉岡愛

6	令和2年08月02日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流センター	7	災害	・日本で起こる災害を質問し答えてもらう その後説明 自国の災害を話す ・津波警報・注意報のサイレンを聞き、違いを聞き分ける ・同報無線の内容を聞き、理解できるか確認する わからない言葉を説明する ・地震が起きた時の行動を答えてもらう ・避難所を確認する ・感想、覚えたこと・言葉などを発表 ・日本語の単語を連想し、書き出す	伊藤ゆかり, 村岡ジョルジ (外Co.)	遠藤康彦, 大橋武一, 木村泰子, 藤田純子
7	令和2年08月23日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流センター	6	①Zoomにつなげてみよう ②オノマトペ	①各自持参したスマホを利用してZoomアプリをインストール後、「ミーティング参加」に入室し、操作方法を知る ②テーマ提示後、オノマトペのプリントを補助者の説明を受けながら回答 いろいろな場面を想定しながらオノマトペでの表現を考えたり、知ったりする オノマトペでの表現を発表	伊藤ゆかり, 村岡ジョルジ (外Co.)	遠藤康彦, 大橋武一, 川添裕子, 木村泰子, 藤田純子, 山田勇翔
8	令和2年08月30日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流センター	7	仕事の日本語	テーマ提示では、自分の名前・家族の名前には「さん」「ちゃん」を付けない、「ご苦労様です」ではなく「お疲れ様です」を使う、話す時に「～です」「～ます」と言う、その他のマナーを話す。グループ対話では日本語で困ったこと、知りたいことなどを話したり、工場での標識を理解する。ペアで自由対話をしたあと、ふりかえりを行う。	伊藤ゆかり, 村岡ジョルジ (外Co.)	遠藤康彦, 大橋武一, 木村泰子, 藤田純子, 山田典嗣
9	令和2年09月06日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流センター	12	困ったこと	日本語で困ったことだけでなく、日常生活や仕事などで困ったことを含めて幅広く話をすることで、伝える日本語を理解したり、解決できる方法を話したりする。 ・日常生活で困ったことをイラストを見せて説明 グループで話した後、全体で発表。	伊藤ゆかり, 村岡ジョルジ (外Co.), 山田典嗣	遠藤康彦, 大橋武一, 木村泰子, 藤田純子, 山田勇翔
10	令和2年09月13日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流センター	8	休日の過ごし方	休日の様子やこれからやってみたいことなどをグループで話し、全体で発表する。ペアで自由対話をしたあと、ふりかえりを行う。	伊藤ゆかり, 村岡ジョルジ (外Co.)	遠藤康彦, 大橋武一, 岡本千佳子, 木村泰子, 藤田純子, 吉岡愛
11	令和2年09月27日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流センター	10	自分のことを話そう	思っていること、感じていること、大切にしていること、自分の性格などをグループで話し、全体で発表する。ペアで自由対話をしたあと、ふりかえりを行う。	伊藤ゆかり, 村岡ジョルジ (外Co.)	遠藤康彦, 大橋武一, 木村泰子
12	令和2年10月11日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流センター	6	日本語の勉強方法	各自日本語の勉強方法をグループで話し、全体発表で紹介する。ペアで自由対話をしたあと、ふりかえりを行う。	伊藤ゆかり, 村岡ジョルジ (外Co.)	遠藤康彦, 木村泰子, 藤田純子, 山田典嗣, 吉岡愛
13	令和2年10月18日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流センター	8	わたしの気になる(知りたい)日本語	「日常生活で耳にするにほんご」「伝えたいのにどう話したらよいか分からないにほんご」「仕事や生活で意味がわからないにほんご」など、自分だけでは分からない「にほんご」についてお互いに話して教えあって理解を深める。 ・どんなにほんごが気になるか？知りたいか？→いつもの生活／しごと／かんばん ・どうやって調べるか？→日本人に聞く／テレビを見る／スマホで調べる グループで話した後、発表する。	伊藤ゆかり, 村岡ジョルジ (外Co.), 山田典嗣	遠藤康彦, 木村泰子, 藤田純子, 吉岡愛
14	令和2年10月25日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流センター	6	好きな言葉	好きな日本語の言葉とその理由をグループで話し、全体で発表。ペアで自由対話をしたあと、ふりかえりを行う。	伊藤ゆかり, 村岡ジョルジ (外Co.)	木村泰子, 藤田純子, 吉岡愛
15	令和2年11月08日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流センター	4	わたしの好きな場所	ゲーム・自己紹介の後、自分の好きな場所とその理由をグループで話し、グループごとに発表して共有。ペア対話で自由に話した後、学習確認シートに記入。活動前後の自己評価も行う。	伊藤ゆかり, 村岡ジョルジ (外Co.), 【以下4人日本語ボラ養成講座実習・謝金無し】石田明子, 硯田晃弘, 中里清美, 村松靖子	遠藤康彦, 川添裕子, 木村泰子, 硯田淳子, 藤田純子, 山田典嗣, 吉岡愛
16	令和2年11月15日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流センター	6	スピーチと歌に挑戦しよう	スピーチのタイトルと内容を考え、みんなの前で話す 日本の歌「幸せなら手をたたこう」を全員で歌う 活動の感想を発表する	伊藤ゆかり, 村岡ジョルジ (外Co.)	遠藤康彦, 木村泰子, 藤田純子

17	令和2年12月06日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流センター	4	来年の目標	今年1年を振り返って来年の目標を考え、グループで対話する。全体で発表する	伊藤ゆかり, 村岡ジョルジ(外Co.)	遠藤康彦, 大橋武一, 木村泰子, 硯田晃弘
18	令和2年12月13日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流センター	7	年末年始の過ごし方	年末年始の仕事の休みはいつからいつまでか、年末年始はどのように過ごすか、自分の国の年末年始の過ごし方はどうかなどを話す	伊藤ゆかり, 村岡ジョルジ(外Co.)	遠藤康彦, 大橋武一, 木村泰子, 藤田純子, 山田典嗣, 吉岡愛
19	令和2年12月20日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流センター	7	日本の文化を知ろう	竜洋中学校の3年生作成の日本の文化を紹介したカードの中から好きなものを選び、そのカードの文化の説明を補助者から聞いたり、自分で文を読んだりして、文化を理解する カードの内容について、自分の国の文化についてや中学生に対してのメッセージを書く レクレーションとして輪ゴム飛ばしで楽しむ 車座になって教室の感想を発表	伊藤ゆかり, 木村泰子(謝金無し), 村岡ジョルジ(外Co.)	遠藤康彦, 大橋武一, グエン・ティ・タオ・バン, 匂坂正代, 相本佳奈美, 藤田純子, 吉岡愛
20	令和3年01月17日(日) 14:00-16:00	2	竜洋交流センター	7	年末年始にしたこと	自分の冬休み(年末年始)の過ごし方について、お互いに話して理解を深める。また、日本と自分の国との年末年始の違いについても話していく。 日本らしい年末年始の過ごし方を中心にして説明、「いつからいつまで休み」「誰と一緒に」「どうやって」「どこへ行った」など、話の組み方にも工夫する。グループで話したあと、全体で発表。	伊藤ゆかり, 村岡ジョルジ(外Co.), 山田典嗣	大橋武一, 木村泰子, 藤田純子

日本語教育の実施内容【ワークピア教室】

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名
1	令和2年05月31日(日) 14:00-16:00	2	ワークピア 磐田	13	A. 自己紹介と最近の生活 B. Stay home	A. ①グループ内で自己紹介をし、最近の生活について対話をする。 ②グループで話したことを全体で共有する。 B. 自己紹介、自粛中、後の生活・給付金の使い途・心配なことをグループで話す。全体の前で発表、学習確認シートに記入。	足立進一郎, 伊藤眞智子, 氏原初美, 澤田和歌子, 鈴木昌世, 立花・チアゴ・ミツオ(外Co.), 海山綾子	渥美久美子, 石川智久, 川添裕子, 川本啓, 藤村克英, 松浦祐子, 茂木眞佐代, 矢野美佳
2	令和2年06月07日(日) 14:00-16:00	2	ワークピア 磐田	19	A. やりたいこと, 楽しいこと B. 給付金 申請書の書き方	A. ①グループ内で最近および感染拡大終息後にやりたいこと、楽しいことについて対話する。 ②グループで話したことを全体で共有する。 B. 給付金申請書の提出確認。住所・氏名の記入、書類に出て来るわからない言葉をグループで確認。学んだことを発表し、学習確認シートに記入。	足立進一郎, 伊藤眞智子, 川本啓, 澤田和歌子, 鈴木昌世, 立花・チアゴ・ミツオ(外Co.), 藤村克英, 海山綾子	渥美久美子, 石川智久, 氏原初美, 鈴木ゆみ, 松浦祐子, 茂木眞佐代
3	令和2年06月14日(日) 14:00-16:00	2	ワークピア 磐田	28	A. 夏の風物詩 B. 自分のことを話そう	A. ①グループ内で最近および感染拡大終息後にやりたいこと、楽しいことについて対話する。 ②グループで話したことを全体で共有する。 B. 自己紹介。ワークシートを使用して、過去、現在、未来の自分のことを書き、グループで話す。全体の前で発表し、学習確認シート記入。	足立進一郎, 石川智久, 市川久美, 伊藤眞智子, 鈴木昌世, 立花・チアゴ・ミツオ(外Co.), 松浦祐子, 海山綾子	氏原初美, 川添裕子, 川本啓, 岸本洋充, 藤村克英
4	令和2年06月28日(日) 14:00-16:00	2	ワークピア 磐田	29	A. 行事, イベント B. セタ(たなばた)	A. ①グループ内で好きな行事、イベントについて対話する。 ②グループで話したことを全体で共有する。 B. 自己紹介。セタの紹介。自分のこと、家族のことなど 願いごとを 補助者と話しながらかいてみる。願いごとのいくつかを日本語で短冊に書いて、笹に結び付ける。 短冊に書いたことを各人 発表する。	足立進一郎, 川本啓, 澤田和歌子, 鈴木昌世, 袴田千里(外Co.), 謝金無し, 藤村克英, 海山綾子	渥美久美子, 石川智久, 石田明子, 氏原初美, 兼子桂司, 川添裕子, 岸本洋充(オンライン参加), 鈴木ゆみ, 平尾利華, 中村小十郎, 松浦祐子, 村山久代, 茂木眞佐代
5	令和2年07月12日(日) 14:00-16:00	2	ワークピア 磐田	20	A. 私の趣味 B. 夏	A. ①グループ内で趣味についての対話をする。 ②グループで話したことを全体で共有する。 B. 夏はいつか、食べ物、天気、気温、使うもの、することを話そう	足立進一郎, 伊藤眞智子, 氏原初美, 鈴木昌世, 袴田千里(外Co.), 謝金無し, 松浦祐子, 海山綾子	石川智久, 石田明子, 兼子桂司, 川添裕子, 川本啓, 栗田叔子, 鈴木ゆみ, 坪田淳一, 中村小十郎, 藤村克英

6	令和2年07月19日(日) 14:00-16:00	2	ワークピア 磐田	23	A. 私の出身地 B. 折り紙	A. ①グループ内で出身地の自慢したいもの、大切にしたいものについて対話する。 ②グループで話したことを全体で共有する。 B. 自己紹介。折り紙 完成品紹介、材料、作品(犬、きつね、しゅりけん、つる)の作り方を見ながら関連の日本語を覚える。聞いて作る。見て作る。質問して作る。(教えてもらう。)	足立進一郎、伊藤眞智子、川本啓、鈴木昌世、立花・チアゴ・ミツオ(外Co.)、藤村克英、海山綾子	渥美久美子、石川智久、石田明子、氏原初美、兼子桂司、川添裕子、岸本洋充(オンライン参加)、栗田叔子、小山梨沙、澤野孝光、鈴木ゆみ、坪田淳一、中村小十郎、仁科正佳、松浦祐子
7	令和2年08月02日(日) 14:00-16:00	2	ワークピア 磐田	19	A. 夏によく食べる(飲む)もの B. わたしの1日	A. 1 母国・日本で夏によく食べるものを対話する。 2 知らない食べ物に質問してもらう。 B. 進行役の提示→ワークシートに記入→グループで共有→発表	足立進一郎、石川智久、伊藤眞智子、澤田和歌子、澤野孝光、鈴木昌世、高橋ロウエナ(外Co.)、立花・チアゴ・ミツオ(外Co.)、海山綾子	渥美久美子、石田明子、氏原初美、川添裕子、岸本洋充(オンライン参加)、鈴木ゆみ、仁科正佳、茂木眞佐代
8	令和2年08月09日(日) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	11	夏休みに何をしますか?	Zoomを使ったオンラインの教室活動。夏休みに何をするかをグループで話し、全員が発表して話題を共有。	足立進一郎、氏原初美、鈴木ゆみ(謝金無し)、高橋ロウエナ(外Co.)、立花・チアゴ・ミツオ(外Co.)、田中琢間	川本啓、栗田叔子、澤野孝光、坪田淳一、藤村克英、松浦祐子、茂木眞佐代
9	令和2年08月30日(日) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	7	家にあるもの	少人数のグループに分かれる。参加者の家にある日用品や珍しい物を使用して対話活動を行う。物について説明したり、質問したりすることで相互理解する。	足立進一郎、川添裕子、澤野孝光、高橋ロウエナ(外Co.)、袴田千里(外Co.)、謝金無し)	渥美久美子、石田明子、氏原初美、川本啓、鈴木ゆみ、松浦祐子
10	令和2年09月13日(日) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	11	休みの日に何をしますか	少人数のグループで、休みの日に何をするか、お互いに質問しながら話す。全体で共有したあと、ペア対話を行う。	足立進一郎、川添裕子、澤田和歌子、高橋ロウエナ(外Co.)、立花・チアゴ・ミツオ(外Co.)、松浦祐子	渥美久美子、石田明子、氏原初美、岸本洋充、澤野孝光、鈴木ゆみ、坪田淳一、藤村克英、【以下4人ボラ養成講座実習】鈴木天姫、硯田晃弘、中里清美、山田祥子
11	令和2年09月27日(日) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	11	私の買い物	グループで、自分が買ったものを見せながら説明し、他の人の買い物についても質問する。全体で共有したあと、ペア対話を行う。	足立進一郎、川添裕子、岸本洋充、澤田和歌子、袴田千里(外Co.)、謝金無し)	石田明子、氏原初美、坂部果歩、鈴木ゆみ、坪田淳一、藤村克英、【以下2人ボラ養成講座実習】大場こころ、安西碧
12	令和2年10月11日(日) 14:00-16:00	2	ワークピア 磐田	16	私の家族	①グループ内で家族についての対話をする。 ②グループで話したことを全体で共有する。	足立進一郎、氏原初美、澤田和歌子、高橋ロウエナ(外Co.)、立花・チアゴ・ミツオ2.5h(外Co.)※学習者への連絡(通訳)時間0.5h含む、前嶋義夫	石川智久、石田明子、兼子桂司、川添裕子、藤村克英、中村小十郎、仁科正佳、茂木眞佐代
13	令和2年10月18日(日) 14:00-16:00	2	ワークピア 磐田	12	私の仕事	①グループ内で仕事についての対話をする。 ②グループで話したことを全体で共有する。	足立進一郎、澤田和歌子、高橋ロウエナ(外Co.)、袴田千里(外Co.)、謝金無し、藤村克英、前嶋義夫	石川智久、石田明子、氏原初美、兼子桂司、川添裕子0.5h、茂木眞佐代、矢野美佳
14	令和2年10月25日(日) 14:00-16:00	2	ワークピア 磐田	13	私の一日	①グループ内で一日の過ごし方についての対話をする。 ②グループで話したことを全体で共有する。	石川智久、澤田和歌子、袴田千里(外Co.)、謝金無し、前嶋義夫	石田明子、氏原初美、川添裕子、仁科正佳、矢野美佳

15	令和2年11月01日(日) 14:00-16:00	2	ワークピア 磐田	18	わたしの好きな食べもの	自分の好きな食べものが何か、またどんな味かななどをグループで話す。グループごとに発表を行い、ペア対話。ひとことずつ感想を話した後、ふりかえりシート・学習記録を記入。	澤田和歌子, 高橋ロウエナ(外Co.), 袴田千里(外Co.), 謝金無し, 前嶋義夫, 【以下4人日本語ボラ養成講座実習・謝金無し】鈴木天姫, 鈴木友美, 舟津碧, 渡邊真帆	石川智久, 石田明子, 兼子桂司, 川添裕子, 小山梨沙, 仁科正佳, 茂木眞佐代
16	令和2年11月08日(日) 14:00-16:00	2	ワークピア 磐田	15	わたしの住んでいるところ	①「しりとり」を通じて、様々な単語をヒアリング。 ②会場であるワークピアから自宅近隣までについて、他人に説明できるようグループ内で対話。結果をクラス全員の前で発表。 ③大規模な自然災害の際には、近隣の小学校や中学校が、避難所となるので、是非、そこまでの道順を覚えておいて欲しい旨を、さらっと、説明。 ④ふりかえりシート・学習記録を記入。 ⑤年末のオンラインイベントへの参加を説明。	澤田和歌子, 高橋ロウエナ(外Co.), 立花チアゴ・ミツオ(外Co.), 仁科正佳, 茂木眞佐代	石川智久, 兼子桂司
17	令和2年11月22日(日) 14:00-16:00	2	ワークピア 磐田	19	自分のことを話そう	①2つのイベントとビデオ撮影の趣旨を理解する。 ②何を話すか考え、対話しながら話すことをまとめる。 ③みんなの前で話すことに挑戦する(ビデオに撮影するといういつもと違うことに挑戦)。 ④ふりかえりシート・学習記録を記入。	澤田和歌子, 高橋ロウエナ(外Co.), 立花チアゴ(外Co.), 前嶋義夫, 茂木眞佐代	石川智久, 石田明子, 氏原初美, 兼子桂司, 長坂弘文, 仁科正佳, 矢野美佳, 横山基生(見学)
18	令和2年12月06日(日) 14:00-16:00	2	ワークピア 磐田	9	旅行(行きたいところ, 行ったことがあるところ)	①「おりがみ」で“鶴”を折ることで、日本文化に接する。 ②旅行の観点で、行ったことがあるところ、行きたいところを、グループ内で話し、“行った”もしくは“行ったことがある”(過去形)、“行きたい”(希望)の表現を、学習する。 ③ふりかえりシート・学習記録を記入。 ④内容に制限を設けず、1対1で対話をし、会話力を深める。同時に、学習者間の親睦を深める。	澤田和歌子, 仁科正佳, 袴田千里(外Co.謝金無し)	石川智久, 石田明子, 氏原初美, 兼子桂司, 川添裕子, 茂木眞佐代
19	令和2年12月13日(日) 14:00-16:00	2	ワークピア 磐田	18	新型コロナウイルス感染症	コロナウイルスに感染しないように気をつけていること、(コロナ禍で)大変だったことをグループで話し、発表。磐田市立病院作成の資料でコロナウイルスについての説明を聞き、外部講師の保健師の話聞いた後、質疑応答。	川添裕子, 小嶋由美(西部保健所医療健康部長・謝金無し), 澤田和歌子, 高橋ロウエナ(外Co.), 立花チアゴ(外Co.), 前嶋義夫	石川智久, 石田明子, 氏原初美, 兼子桂司, 長坂弘文, 仁科正佳, 舟津碧, 茂木眞佐代, 横山基生
20	令和2年12月20日(日) 14:00-16:00	2	ワークピア 磐田	11	2020年 私のニュース	①グループ内で今年あった出来事についての対話をする。 ②グループで話したことを全体で共有する。	石田明子, 澤田和歌子, 高橋ロウエナ(外Co.), 立花チアゴ・ミツオ(外Co.), 前嶋義夫	石川智久, 氏原初美, 兼子桂司, 長坂弘文, 廣永紗歩里, 舟津碧, 茂木眞佐代, 渡邊真帆
21	令和3年01月17日(日) 14:00-16:00	2	ワークピア 磐田	13	冬休みに何をしましたか	①グループ内で冬休みにしたことを対話する。 ②グループで話したことを全体で共有する。	氏原初美, 澤田和歌子, 立花チアゴ・ミツオ(外Co.), 前嶋義夫, 矢野美佳	石川智久, 石田明子, 川添裕子, 長坂弘文, 渡邊真帆

日本語教育の実施内容【日曜オンライン】※1月24日から対面を中止とした西貝、竜洋、ワークピアの3教室合同で開いたオンライン教室

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名
1	令和3年01月24日(日) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	18	友だちになろう!	全体に活動の説明をした後、ブレイクア ウトルームに少人数(2-3人)で分か れ、自己紹介をする。ペア対話も2回行 い、自分のことを話したり、相手のことを 聞いたりする。事前事後評価はジェス チャーで行う。	川添裕子, 鈴木登世, 立 花・チアゴ・ミ ツオ(外Co.), 津村・タチア ナ・美恵子 (外Co.), 前嶋 義夫1h, 矢野 美佳	石岡千鶴子, 石田明子, 石橋広子, 氏原初美, 大石佳典, 大場睦子, 楠 田登志代, 鈴木友美, 仲田明子, 舟 津碧, 松本ゆうじ
2	令和3年01月31日(日) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	24	私の好きな食べ物	好きな食べものについて、4-5人のグ ループで自分のことを話したり、相手の ことを聞いたりする。ペアで自由なテー マで対話を行う。事前事後評価はジェス チャーで行う。	川添裕子, 楠 田登志代(謝 金無し), 中里 清美(外Co.), 長坂弘文, 袴 田千里(外 Co.謝金無 し), 前嶋義夫, 村岡ジョルジ (外Co.), 矢野 美佳	石岡千鶴子, 石川智久, 石田明子, 石橋広子, 氏原初美, 大石節子, 大 場睦子, 鈴木天姫, 津村・タチアナ・ 美恵子, 仲田明子, 中山緑, 藤田純 子, 福田由美子, 舟津碧, 松浦祐子, 松本祐司, 【見学者】伊藤ゆかり, 澤田和歌子, 【会場サポート】茂木 眞佐代
3	令和3年02月07日(日) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	16	お国自慢	日本のお国自慢を提示してからグルー プに分かれてそれぞれの国の良いとこ ろを話す。ペアで自由なテーマで対話を行 う。事前事後評価はジェスチャーで行 う。	伊藤ゆかり, 大石佳典, 澤 田和歌子1h, 長坂弘文, 袴 田千里(外 Co.謝金無 し), 前嶋義夫, 村岡ジョルジ (外Co.), 茂木 眞佐代, 矢野 美佳	石田明子, 大橋武一, 鈴木友美, 藤 田純子, 舟津碧, 松本祐司
4	令和3年02月14日(日) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	16	趣味	①グループ内で趣味を話す。 ②グループで話したことを全体で共有す る。 ③ペアで自由なテーマで対話を行う。 事前事後評価はジェスチャーで行う。	石田明子, 氏 原初美, 川添 裕子, 立花・ チアゴ・ミツ オ(外Co.), 津 村・タチア ナ・美恵子 (外Co.), 長坂 弘文, 前嶋義 夫1h, 矢野美 佳	石岡千鶴子, 石橋広子, 伊藤ゆかり, 大場睦子, 楠田登志代, 仲田明 子, 中山緑, 松本祐司, 渡邊真帆
5	令和3年02月21日(日) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	18	交通ルール	①グループ内で交通ルールについて話 す ②グループで話したことを全体で共有す る ③ペアで自由なテーマで対話を行う。 事前事後評価はジェスチャーで行う。	川添裕子, 楠 田登志代(謝 金無し), 澤田 和歌子1h, 高 橋 ロウエナ (外Co.), 立 花・チアゴ・ミ ツオ(外Co.), 中里キヨミ (外Co.), 仲田 明子, 中山緑, 前嶋義夫, 茂 木眞佐代, 矢 野美佳	足立進一郎, 石岡千鶴子, 石田明子, 石橋広子, 氏原初美, 大場睦子, 舟津碧, 藤村克英, 松浦祐子, 村岡 ジョルジ
6	令和3年02月28日(日) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	7	私の家族	家族について、グループで話したあと、 全体で共有。ペアで自由なテーマで対 話を行う。事前事後評価はジェスチャー で行う。	伊藤ゆかり, 大石佳典, 津 村・タチア ナ・美恵子 (外Co.), 村 岡ジョルジ (外Co.), 茂木 眞佐代, 矢野 美佳	大場睦子, 木村泰子, 楠田登志代, 中山緑, 藤田純子, 藤村克英, 松浦 祐子, 松本祐司1h
7	令和3年03月07日(日) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	14	日本の四季と行事	①動画を使った提示を行ったあと、グ ループに分かれ日本の季節・行事、自 分の国の行事についての対話をする ②グループで話したことを全体で共有す る。 ③ペアで自由なテーマで対話を行う。 事前事後評価はジェスチャーで行う。	足立進一郎, 石田明子, 川 添裕子, 澤田 和歌子, 高橋 ロウエナ(外 Co.), 立花チ アゴミツオ (外Co.), 長坂 弘文, 中里キ ヨミ(外Co.)	渥美久美子, 石岡千鶴子, 石橋広 子, 伊藤ゆかり, 氏原初美, 大石佳 典, 大場睦子, 川本啓, 鈴木友美, 坪 田淳一, 仲田明子, 舟津碧, 藤村克 英, 茂木眞佐代

8	令和3年03月14日(日) 14:00-15:30	1.5	オンライン (Zoom)	11	道をきいてみよう	①「つなひろ」のビデオを観た後にグループに分かれ自分の体験を話す、他の人の体験を聞く ②グループで話したことを全体で共有する ③ペアで自由なテーマで対話を行う。 事前事後評価はジェスチャーで行う。	伊藤ゆかり、大石佳典、川添裕子、高橋ロウエナ(外Co.)、村岡ジョルジ(外Co.)	石岡千鶴子、石橋広子、大場睦子、川本啓、楠田登志代、仲田明子、中山緑、藤村克英、松浦祐子、矢野美佳、渡邊真帆
---	------------------------------	-----	-----------------	----	----------	---	---	--

(1)特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

【LaLa日本語教室オンライン 第5回 令和2年8月8日】

<テーマとねらい>

「防災について考えよう！」地震、大雨、台風の時に何をすればいいかわかる。

<進行役>1人

<テクニカルサポート(Zoomホスト)>1人

<補助者>10人

<受講者>11人(ブラジル3人、フィリピン4人、中国1人、ベトナム3人)

<使用教材>

パワーポイント、Zoomアプリ有料ライセンス

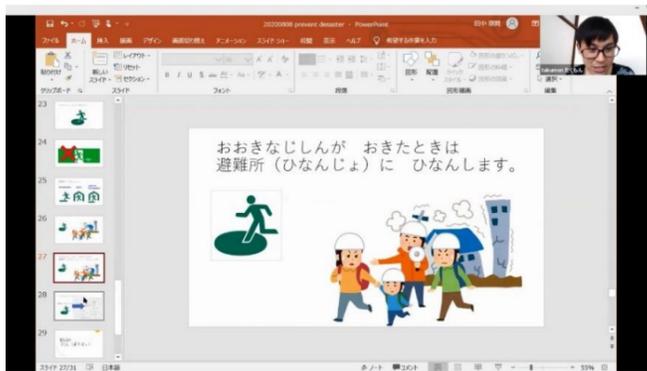
<活動内容>

1. あいさつ
2. Zoomの基本確認
3. 自己紹介(ブレイクアウトルームで5グループに分かれる①名前②国③好きな動物)
4. 今日の目標(事前評価 O, Δ, ×の3段階を紙に書いたり、ジェスチャーで示して自己評価)
5. テーマ提示
6. グループ対話(ブレイクアウトルームで5グループに分かれる)
7. 発表
8. ハンカチマスク作り
9. 今日の目標(事後評価)
10. ペア対話(ブレイクアウトルーム 2-3人で5分×1回)
11. 全体会(全員一言感想を言う、次回のお知らせ)

<所感>

全体的に日本語レベルの高い学習者が多く、初級レベルの学習者にとってはグループ対話の時間が少し大変になってしまったかもしれない。これまでの活動を通して、異なるレベルのグループである程度成り立つことが分かったが、初級と上級レベルはなるべく別のグループにしても良いかもしれないと感じた。

また、今回はブラジルの学習者は同じグループには入れず、外国人コーディネーターもポルトガル語話者以外と組ませしてみた。日本語のみの環境でもあまり問題なく活動に参加できていた。以前は通訳がないと大変だった学習者も指示や話している内容を理解できていたため、日本語能力の向上が見受けられた。継続して参加してくれている補助が必要な初級レベルの方は、タイミングを見て母語が通じないグループに入れて日本語が自然と上達していることを感じさせたい。



○取組事例②

【ワークピア日本語教室対話クラス 第19回 令和2年12月13日】

<テーマとねらい>

「新型コロナウイルス感染症」

- ①コロナウイルスに感染しないために、どうしたらいいか知っている
- ②コロナウイルスに感染したかな?というとき、どうしたらいいか知っている

<進行役>1人

<外部講師>1人

<補助者>8人

<外国人住民コーディネーター>2人

<受講者>10人(ブラジル5人、フィリピン3人、インド1人、インドネシア1人)

<使用教材>振り返りシート・学習記録・グループ用ホワイトボード・新型コロナウイルス資料(磐田市立総合病院作成)・プロジェクター・スクリーン・ワークシート・感染予防・多言語ホットライン資料(静岡県西部保健所用意、配布用)・提示用イラスト

<活動内容>

1. あいさつ、自己紹介
2. ゲーム
3. テーマの提示、事前自己評価
4. グループ対話の準備
5. グループ対話
6. 共有
7. 「新型コロナウイルス感染症」の説明
8. 保健師さんのお話
9. 質疑応答
10. 学習記録記入、事後自己評価
11. 全体会

<所感>

・西部保健所から外国人住民の方に直接感染予防の情報を伝えたいという相談があり、また、たくさんの資料を短時間で翻訳してくれた磐田市立病院のご協力のおかげもあって、教室に来てくれた人々には感染予防や対応についてのポイントは伝わったと思う。感染が徐々に身近になってきているので、友だち等にも伝えていってもらえたら、日本語で情報が伝わりにくい方への感染予防の効果もあがると思われる。



(2) 目標の達成状況・成果

給付金申請書の書き方、新型コロナウイルス感染症について、交通ルール、災害・防災に関すること、緊急通報のかけ方など、生活課題の解決につながるテーマを取り入れながら教室活動を行った。教室活動の前後に、その日の目標に対して自己評価で目標達成状況を確認したり、感想を聞いたが、活動後には目標に対して「できるようになった」と感じる人が増え、生活課題の解決につながったと推測される。コロナで仕事がなくなったり、遊びにでかけられないという状況や、外国人住民コーディネーターがいる安心感もあってか、これまでに比べて教室に継続して参加する学習者が増え、いつも顔を合わせる参加者(学習者・支援者双方)同士が対話を重ねてお互いを知り、仲良くなる傾向が見られた。参加者の相互理解も深まったといえる。居場所感が高まったせいか家族や友人を教室に連れて来たり紹介する学習者も増えた。これらの活動の積み重ねにより、初めは日本語を話すことが恥ずかしく人前で発表ができなかった学習者も自信がついてできるようになった。また、紹介した外部のスピーチコンテストに挑戦する学習者がいたり、他の学習者が所属するスポーツサークルに参加したいという学習者を仲介したり、教室の外での活動を広げるサポートもできた。

(3) 今後の改善点について

・新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、対面・オンラインを切り替えた教室もあったが、切り替えのタイミングで教室への参加が途絶えてしまった学習者がいた。Wi-fi環境や機器の問題など運営側での対処が難しい問題もあるが、対面の際にオンラインに切り替える準備、練習を少しずつ行って慣れてもらい、少なくとも心理的なハードルは下げておく方がよい。
 ・教室活動を対面で続けるか、オンラインにしてもらうべきかの判断が難しく、感染拡大の状況によってその都度教室コーディネーターと相談しながら決めたいが、個人の感覚の差が大きく、教室内で不満が出たところもあった。状況も変わるので難しいが、予めオンラインにする基準を決め、周知しておいた方がよいかもしれない。
 ・外国人住民コーディネーターの役割について、事務局、本人、支援者でずれがあり、教室によっては通訳がメインになってしまったところもあった。事前にオリエンテーションを行い、共通認識を作っておくべきだと思った。
 ・初級レベルの学習者も以前より続くようになったが、周りの学習者の日本語レベルが高くて遠慮してしまう、逆によく話せる人が話し足りないと感じてしまうことが直接感想を聞いた中であつた。対話のグループではレベルを分けているが、クラスを分けた方がより満足感が高まると思われる。

日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

【活動の名称: A. 日本語ボランティア養成講座2020 B. 日本語支援者スキルアップ研修+情報交換会】

取組の目標	A. 対話活動のプログラムを作成して進行する人材と、対話の相手となる補助者を養成し日本語支援者を増やす。 B. 日本語支援者のコミュニケーション力、活動を促進する場づくり力のスキルアップを目指す。
内 容	<p>【A. 日本語ボランティア養成講座2020】(1回2.5時間×7回, 1回3時間×1回) 地域の多文化共生と日本語教育について講義と実践を交えて学んだ。地域日本語教室での対話活動の実践を組合せ、全8回コースで実施した。オンラインでの教室活動も並行して行っていたため、第4回の実践は全てオンラインの教室へ参加とし、第5回の「活動計画の立て方」にはオンラインでの内容も盛り込んで、オンラインでの活動にも対応できる人材を養成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●磐田市の外国人の現状、地域の多文化共生と日本語ボランティアの役割について、見学や講義、ワークショップを通して学んだ。 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 教室見学・オリエンテーション 第2回 地域の多文化共生 第3回 地域日本語教室のあり方と日本語ボランティアの役割 ●実際の教室で補助者・進行役として実践を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 第4回 実践1(対話活動補助者の体験) 第5回 活動計画の立て方 第6回 活動計画を立てる 第7回 実践2(対話活動進行役の体験) ●活動全体や自身の生活をふりかえり、今後の教室活動への関わり方を考え、ボランティア登録も行った。 <ul style="list-style-type: none"> 第8回 振り返り・今後の活動について <p>【B. 日本語支援者スキルアップ研修+情報交換会】(1回2.5時間×4回) これまでの日本語教室の活動の中で出てきた「日本語が初級レベルの学習者への対応が難しい」という課題を解決するため、学習者とのコミュニケーション力や活動を促進する場づくりの力をもった人材養成を目標に研修を実施した。また、最終回に情報交換会を設け、各教室で研修内容を実践した結果について支援者が共有したり、活動の中で出て来る各クラスでの課題について考えたりすることで、解決や改善につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回 日本語教室のコミュニケーションスキル 第2回 対話活動の進行役と補助者の役割 第3回 参加型の学びを促進するファシリテーション講座 第4回 振り返り・情報交換会

実施期間	令和2年8月9日～令和3年2月20日		授業時間・コマ数	A. 1回2.5時間 ×7回 = 17.5時間 1回3.0時間 ×1回 = 3.0時間 B. 1回2.5時間 ×4回 = 10.0時間 総計 30.5時間						
対象者	A. 日本語支援者, または日本語ボランティア活動に関心があり, 修了後継続して教室で活動できる人 B. 日本語指導者・補助者, 外国人支援に関心のある人		参加者	総数 50人 ※実人数 A. 受講者 18人, 指導者・支援者等 4人 B. 受講者 24人, 指導者・支援者等 4人						
カリキュラム案活用	A. 日本語ボランティア養成講座2020 ・初回のオリエンテーションの内容に、「指導力評価項目」を参考にして教室活動に携わる人に必要なことを盛り込んだ。 ・対話活動の実践の計画の際にカリキュラム案の「生活上の行為の事例」, 日本語能力評価の「能力記述の一覧」を活用して外国人参加者のニーズにあったテーマや活動内容を選んだ。活動方法はガイドブックの「タスク」「エクササイズ」の多様な例を参考に考えた。また、「教材例集」を参考に活動に必要な資料を考えた。 B. 日本語支援者スキルアップ研修+情報交換会 ・情報交換会で教室活動の課題が出た際, 解決の方法を探るのに「指導力評価項目」を参考にした。									
使用した教材・リソース	A. 日本語ボランティア養成講座 ・「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案5点セット ・磐田対話教材「にほんごでおしゃべりしよう！」 ・行動体験の活動のための教材「街に出よう！人と出会おう！」 ・講師が用意したパワーポイント資料 B. 日本語支援者スキルアップ研修 ・「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案5点セット ・講師が用意したパワーポイント資料 ・わたしを伝える日本語(千葉市国際交流協会)(第1回で使用)									
受講者の出身(ルーツ)・国別内訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本
			1人						1人	40人
※すべて実人数 ※AとB両方を受講した日本人5人										
養成・研修の実施内容【A. 日本語ボランティア養成講座2020】										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名		
1	令和2年8月9日(日) 13:30～16:00	2.5	ワークピア 磐田	15	教室見学(LaLa日本語オンライン教室の動画視聴に変更)・オリエンテーション	1. 今日目的・流れについて 2. 参加者自己紹介 3. オリエンテーション 4. 日本語教室概要 5. オンライン教室をしてみよう(動画) 6. 質疑応答 7. ふりかえりシート記入	川添裕子	なし		
2	令和2年8月29日(土) 13:30～16:00	2.5	オンライン (Zoom)	15	地域の多文化共生	1. 自己紹介 2. 高畑先生からの報告, 地域社会の多文化共生について 3. 質疑応答 4. グループディスカッション 5. 4について代表者報告 6. 高畑先生からコメント	高畑幸	なし		
3	令和2年9月5日(土) 13:30～16:00	2.5	オンライン (Zoom)	14	地域日本語教室のあり方と日本語ボランティアの役割	1. 「地域日本語教室のあり方」を考える 2. 日本語ボランティアの役割を考える 3. 日本語ボランティアの基礎力 4. おわりに コミュニケーションとは 5. ふりかえり	米勢治子	なし		
4	令和2年9月12日(土) 13:30～16:00	2.5	オンライン (Zoom)	3	実践1	LaLa日本語教室(オンライン)に受講者が補助者として参加 1. 事前打合せ 2. 授業参加 対話テーマ「おいしい食べ物」 3. ふりかえり	—	なし		
	令和2年9月13日(日) 13:30～16:00	2.5	オンライン (Zoom)	4	実践1	ワークピア教室(オンライン)に受講者が補助者として参加 1. 事前打合せ 2. 授業参加 対話テーマ「休みの日に何をしますか」 3. ふりかえり	—	なし		
	令和2年9月26日(土) 13:30～16:00	2.5	オンライン (Zoom)	4	実践1	LaLa日本語教室(オンライン)に受講者が補助者として参加 1. 事前打合せ 2. 授業参加 対話テーマ「好きな○○」 3. ふりかえり	—	なし		

	令和2年9月27日(日) 13:30~16:00	2.5	オンライン (Zoom)	2	実践1	ワークピア教室(オンライン)に受講者が補助者として参加 1. 事前打合せ 2. 授業参加 対話テーマ「私の買い物」 3. ふりかえり	—	なし	
	令和2年10月10日(土) 13:30~16:00 ※順番が前後するがこのグループのみ第5回 の後にいった	2.5	オンライン (Zoom)	1	実践1	LaLa日本語教室(オンライン)に受講者が補助者として参加 1. 事前打合せ 2. 授業参加 対話テーマ「私の買い物」 3. ふりかえり	—	なし	
5	令和2年10月3日(土) 13:30~16:00	2.5	iプラザ(総合健康福祉会館)	12	活動計画の立て方	1. 対話を中心とした教室活動 2. 活動計画の立て方 3. オンライン教室について 4. グループ活動 ・模擬授業計画を立てる 5. ふりかえりシート記入	川添裕子 田中琢問	なし	
6	令和2年10月17日(土) 13:30~16:00	2.5	iプラザ(総合健康福祉会館)	13	活動計画を立てる	1. グループ活動(活動計画) 2. 発表(グループごとテーマ提示)と意見交換 3. ふりかえりシート記入	川添裕子	なし	
7	令和2年11月1日(日) 13:30~16:30	3	ワークピア 磐田	4	実践2	ワークピア教室にて受講者が進行役・補助者として授業を 実践 1. 授業開始前の打合せと準備 2. 授業 対話テーマ 「わたしの好きな食べ物」 3. ふりかえり	川添裕子 (コーディネーター)	なし	
	令和2年11月8日(日) 13:30~16:30	3	竜洋交流センター	4	実践2	竜洋教室にて受講者が進行役・補助者として授業を 実践 1. 授業開始前の打合せと準備 2. 授業 対話テーマ 「わたしの好きな場所」 3. ふりかえり	川添裕子 (コーディネーター)	なし	
	令和2年11月14日(土) 13:30~16:00	2.5	オンライン (Zoom)	2	実践2	LaLa日本語教室にて受講者が進行役・補助者として授業を 実践 1. 授業開始前の打合せと準備 2. 授業 対話テーマ 「頑張っていること、頑張りたいこと」 3. ふりかえり	川添裕子 (コーディネーター謝金なし)	なし	
	令和2年11月22日(日) 13:30~16:30	3	西貝交流センター	3	実践2	西貝教室にて受講者が進行役・補助者として授業を 実践 1. 授業開始前の打合せと準備 2. 授業 対話テーマ 「日本に来ておどろいたこと」 3. ふりかえり	川添裕子 (コーディネーター)	なし	
8	令和2年12月5日(土) 13:30~16:00	2.5	iプラザ(総合健康福祉会館)	12	振り返り・今後の活動について	1. あいさつ、今日の流れについて 2. 第7回の実践の振り返りと共有 3. 講座全体の振り返り 4. これからの活動について考える 5. 座談会 6. ボランティア登録とふりかえりシート、アンケート記入	川添裕子	なし	
養成・研修の実施内容【B. 日本語支援者スキルアップ研修+情報交換会】									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名	
1	令和2年11月29日(日) 13:30~16:00	2.5	オンライン (Zoom)	13	日本語教室でのコミュニケーションスキル	1. 日本語学習支援者の役割 国内の日本語教育をめぐる近年の出来事 2. コミュニケーションスキル 聴く・待つ やさしい日本語	萬浪絵理	なし	

2	令和2年12月19日(土) 13:30~16:00	2.5	オンライン (Zoom)	19	対話活動の進行 役と補助者の役 割	1. はじめに 2. 刈谷初期日本語教室(対話型) の概要 3. 活動における進行役と補助者の 役割 4. 対話と協働について(ケーススタ ディ) 5. ふりかえり	岡部真理子	なし
3	令和3年1月10日(日) 13:30~16:00	2.5	ワークピア 磐田	15	参加型の学びを 促進するファシリ テーション講座	1. 対話型活動で大切なこと 2. ファシリテーションとは 3. 始める前にすること 4. ファシリテーション~学びの場 の進め方6つのコツ~ 5. ふりかえりシート記入	鈴木まり子	なし
4	令和3年2月20日(土) 13:30~16:00	2.5	オンライン (Zoom)	9	ふりかえり・情報 交換会	1. 自己紹介 2. 第1回~3回のふりかえり 3. グループワーク1 「研修のふりかえり」→共有 4. グループワーク2 情報交換 「教室活動について」 →共有, 整理 5. グループワーク3 「2で出た課題について考える」 →共有 6. まとめ	川添裕子 (コーディネ ーター)	なし

(1) 特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

【日本語ボランティア養成講座 第5回 令和2年10月3日 13:30-16:00】

「活動計画の立て方」

<講師> 2名 川添裕子(磐田国際交流協会事務局), 田中琢間(LaLa日本語教室コーディネーター・指導者)

<受講者> 12名(内オンライン参加1名)

<会場> iプラザ(総合健康福祉会館)

●教室活動の進行役として、活動計画をどのように立てるかを学ぶ。今年度から急遽始めたオンラインでの教室活動にも対応できるよう、LaLa日本語教室でオンライン教室活動をしている田中氏にオンラインの活動での注意点も講義してもらった。

1. 対話を中心とした教室活動

1) 活動の目的 2) 協会の対話活動 3) 対話活動の流れ 4) 補助者の体験 5) 進行役の体験

2. 活動計画の立て方

1) テーマを選ぶ 2) 目標設定と活動の概要 3) 活動進行表 4) 質疑応答

3. オンライン教室について

1) 基本的な流れ 2) 役割の違い 3) テーマ選び 4) 活動計画 5) 質疑応答
~休憩~

4. グループ活動 ・グループ分け ・模擬授業計画を立てる(チーム名, テーマと大まかな内容まで)

5. 共有

6. ふりかえりシート記入(以下感想抜粋)

・目標は外国人学習者にどうなってもらいたいかということをしっかり考えて決め、それを達成するにはどのようなことをすればよいかということを考えて、内容を決めるといことも学びました。

・オンラインでの活動に苦手意識を持っていたのですが、今日のお話を伺って、「トラブルはつきもの」と、気持ちが楽になった気がします。学習者、補助者が、それぞれの立場にとらわれることなく、楽しむ姿勢が大切だと感じました。

・活動計画を立てることは、気づきやアイデアが必要だと思いました。どうやったら学習者の興味を引き、楽しく教室を運営できるか経験が必要だと感じました。来週、しっかりと計画を立てて、本番で楽しんでもらえるよう、がんばりたいと思います!!緊張しますね…。



○取組事例②

【日本語支援者スキルアップ研修 第2回 令和2年12月19日(日) 13:30-16:00】

「対話活動の進行役と補助者の役割」

<講師> 刈谷市国際交流協会 教室コーディネーター 岡部真理子氏

<受講者> 19人

<会場> オンライン(Zoom)

●他の地域の対話活動の事例をもとに、進行役、補助者がそれぞれ何に気をつけどんな役割を担っているのかその意図を解説してもらい、支援者がどうあるべきかケーススタディで受講者自ら考えた。

1. はじめに

・ブレイクアウトセッション。3-4人ずつ5グループに分かれ、アイスブレイク(自己紹介, 困っていること, 悩んでいること)

2. 刈谷初期日本語教室(対話型)の概要

・教室の目的, 参加者, 対象となる学習者, コースの流れ

3. 活動における進行役と補助者の役割
 - ・活動の流れと各活動のねらい、進行役・補助者の役割を知る
～休憩～
4. 対話と協働について(ケーススタディ)
 - ・ブレイクアウトセッション。1と同じグループに分かれ、2つの事例についてコーディネーター、補助者の協働について考える
5. ふりかえり

*** ふりかえりシート感想抜粋**

・養成講座や講師の先生のお話、そしてこの半年間の自身の活動経験の中でコミュニケーションの中から対話が生み出され、それを生かす支援をする場所だということを知りました。今日の先生のお話の中でも、日本語教室は外国人が日本語を学ぶだけでなく日本人もコミュニケーションを学ぶ、相互学習の場でありそれが教室の中だけではなく、社会にも通ずる大切なことだと実感しました。…今日の研修では他の教室の皆さんも同じような悩みを抱えていることも知ることが出来、良い情報共有の場となりました。教室は違えど、同じ支援者同士のような対応をすれば上手くいくのか一緒に考えてみるという機会も大切だと思いました。

・学習者と補助者が対等な立場であるために、補助者も同じように発言をすることを今回も学び、これから参加させていただく際には一方的に発言を促すような質問ばかりにならないよう、気をつけたいと思います。



(2) 目標の達成状況・成果

- A. 最終回に実施したアンケートで「このプログラムを受けて、「生活者としての外国人」のための日本語教育に関わってみたいと思いましたか」という設問に対し、8人が「関わってみたい」2人が「できれば関わってみたい」と回答し、3月までに7人が新たに教室に参加している(以前から参加していた2人を除く。5月から更に1人が参加)。以前からボランティアで参加している受講者は受講終了後、進行役も担っており、新規のボランティアの中でも進行役希望者が数名いる。日本語支援者を増やすという目標は達成できた。
- 最後まで受講できなかった方や単発で参加された方も含めると中学生から70代の方まで、18名(実人数)の参加があった。数回でも参加してくれた方には支援者としての参加に結びつかなくても地域日本語教室や多文化共生について参加前よりも理解が進み、講座の実施が共生社会の実現に役立っていることを願う。
- B. 「このプログラムを受ける前よりも、「生活者としての外国人」に対する日本語教育への理解が深まったと思いますか」の問いに対し、回答18名中14名が「深まったと思う」4名が「まあまあ深まったと思う」と回答したことや、各回の受講の感想内容、今後こんな研修をしてはどうか、といった要望が受講者から出てきたことなどから受講が支援者の活動のふりかえりや、改善への意識を高めることにつながったと思われる。定期的に活動をふりかえる時間を持ち、実際のスキルアップにつながっていくように促したい。

(3) 今後の改善点について

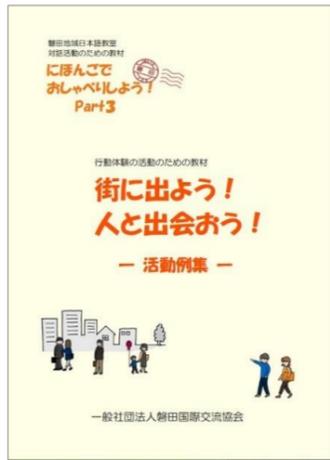
- A. 当初予定していた対面での講座が新型コロナウイルス感染症の状況によりできなくなり、オンラインに切り替えた回があった。Zoomの使用が初めてという方が多く、アプリのインストールや使い方で特に年配の受講者は苦労された。紙で渡せるわかりやすいマニュアルがあるとよいと感じたので準備していきたい。
- B. 講師の皆さんのおかげで学びの多い講座になったと思うが、成果の発信ができなかった。都合で参加できなかった方にも活動のヒントになるように、ホームページやFacebookなどで発信できるとよい。

日本語教育のための学習教材の作成

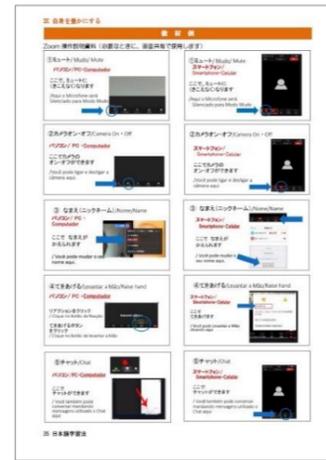
【教材の名称 : にほんごでおしゃべりしよう! Part3 行動体験の活動のための教材 街に出よう! 人と出会おう! -活動例集-】

取組の目標	2018年度に作成した教材「にほんごでおしゃべりしよう! Part3 行動体験の活動のための教材 街に出よう! 人と出会おう! -活動例集-」の整備・拡充をする
内 容	<p>【構成】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動体験活動とは 2. 行動体験活動の作り方 <ol style="list-style-type: none"> ①外国人のニーズに合ったテーマの選択 ②目標設定 ③連携・協力者について(役割・選択・依頼・調整の方法) ④活動の流れの作り方 ⑤活動をスムーズに行うための教材・資料 ⑥学びの見える化 ⑦学びの確認 3. プログラム案と教材案 <ol style="list-style-type: none"> ①生活課題の解決 ②キャリアアップ ③相互理解 ④社会参加 <p>【整備・拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度に作成し、2019年度に修正を加えた「にほんごでおしゃべりしよう! Part3 行動体験の活動のための教材 街に出よう! 人と出会おう! -活動例集-」の教材を参考に各教室で行動体験活動を行い、教材案の更なる追加・差替えを行った。 ・オンラインで行った活動に使用した教材を追加した。 ・各教室の進行役やコーディネーターから外部講師への依頼がしやすいよう、協力団体のリストを作成した。

実施期間	令和2年5月11日～令和3年3月19日	作成教材の 想定授業時間	1回 2.0時間 × 37回 = 74.0時間 1回 1.5時間 × 1回 = 1.5時間 総計 75.5時間
対象者	日本語指導者	教材の頁数	90ページ(表紙, 裏表紙含む)
カリキュラム案活用	<ul style="list-style-type: none"> 「ガイドブック」を活用して、目標設定の仕方、プログラムの具体的な作り方の書き方の参考にした。 「教材例集」を参考に活動に必要な資料を考えた。 「能力評価」の「能力記述」等を活用して選択や目標設定、学びの確認の仕方を考えた。 		
事業終了後の教材活用	<ul style="list-style-type: none"> 各教室の進行役にデータを共有し、行動体験活動の計画・実施に活用できるようにした。 行動体験活動の連携先リストを教室ミーティングで支援者に配布、活動計画の参考にもらった。 		
成果物のリンク先			



活動の計画	内容	担当
1. 活動の目的
2. 活動の場所
3. 活動の時間
4. 活動の参加者
5. 活動の準備
6. 活動の進行
7. 活動の振り返り



4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

地域の連携体制と対話活動・行動体験活動を基盤に、参加者の募集方法を工夫し、初級レベルの学習者にも対応できる教室環境を整えることで、より多くの外国人の参加と日本語学習の継続を促す。同時に活動には「生活者としての外国人」の生活課題の解決につながるものや、地域の多文化理解を促進する活動を取り入れて、誰もが地域社会で自分らしくより豊かに生活できることを目指す。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

・コロナウイルスの影響により教室開催回数が例年より減ったことや、会場の人数制限があることでオンラインに切り替えると参加できなくなる人もいて、昨年度に比べて学習者の実人数は減少したが、オンラインでの教室活動を実施したことで日本語学習の場は継続することができた。
 ・学習の継続や新規学習者の参加については各教室に配置した外国人住民コーディネーターの影響があったと推測される。コロナの影響で仕事がなくなり日本語習得の必要性を感じて教室に来た方が継続しやすかったという状況もあったが、外国人住民コーディネーターが直接知り合いを教室に誘ったり、Facebookで教室の様子を多言語で発信したことでFacebookを見て、という申込みが増えた。初級の学習者も外国人住民コーディネーターがいることで以前より継続して教室に来るようになったりといった成果もあった。
 ・地域との連携については、毎年参加していた交流センターでのイベントや防災訓練等が今年はほとんど中止になったため、これまでの地域との連携体制は、残念ながらあまり活動に活かすことができなかったが、新たにコロナ対策で西部保健所とのつながりをつくることができた。関係者とのつながりを保ちつつ、今後コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたら再び地域とのつながりを強めていきたい。
 ・日本語ボランティア養成講座には定員を超える応募があり、講座後のアンケートでは、スキルアップ研修の参加者と合わせて回答者のうち97%が「『生活者としての外国人』の日本語教育への理解が深まった」、または「まあまあ深まった」、と解答している。また、Facebookで教室の様子を発信することが増え、教室のことを知らない地域の人にも日本語教室の活動について知ってもらう機会が増えた。これらにより、地域の多文化理解の促進につながったといえる。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

・医者に症状を伝える、ごみの分別など生活に関するテーマのときに教材例集を活用した教室では、指導者から、対話活動で生活テーマをどのように取り上げたらよいか難しかったので、問診票やロールプレイなど、教材例集に載っているものを参考にしたとの意見があった。例があると取組へのハードルが下がり、相手と仲良くなるための対話活動に加え、生活課題解決のための活動も取り入れて活動にメリハリをつけることができたとのこと。教材例集の活用方法に「文化庁ホームページからダウンロードすることが可能」とあるが、そこに気づかなかったようで、冊子のイラストや写真を教材として使いたかったが拡大コピーが難しい、という意見があった。
 ・日本語ボランティア養成講座で実習の際のテーマを考えると「生活上の行為の事例」を参考にしてもらった。外国人生活者との接点が少なく、どんな場面で日本語を使うことが必要かが想像しにくい受講者の助けになった。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果等

・磐田市外国人情報窓口で、転入者に日本語教室の案内をしてもらい、学習者の増加につながった。
 ・西部保健所、磐田市総合病院と連携し、2つの教室で新型コロナウイルス感染症の講座を行った。総合病院はポルトガル語・英語の翻訳付の資料を作成、西部保健所からは専門家(保健師)を派遣してもらい、外国人住民コーディネーターの通訳を交えて質疑応答を行った。日本語での情報が届きにくい外国人住民に詳しい情報を伝えることができた。

(5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

<周知広報>
 ・日本語教室については、市の外国人住民窓口でチラシを渡してもらい、協会ホームページやFacebookに教室情報、活動報告を載せる等を行った。特にFacebookを使った広報に力を入れ、効果があった。
 ①教室のチラシに協会FacebookページのQRコードを載せ、学習者の登録時、可能な人にはその場でFacebookページに「いいね！」をしてもらった。教室のお知らせや、活動の様子を掲載したときに情報が届く人が増え、学習者の友だちや知り合いに教室のことが広がった。
 ②外国人住民コーディネーターがFacebookページに教室活動の様子を直接投稿できるようにした。投稿頻度が増えたこと、多言語で、外国人の目にとまりやすい工夫(絵文字の使い方など)がされたことなどから、閲覧、反応が増えた。
 ①、②によりFacebookページのフォロワー数が増え(533人(2020.5.15)→791人(2021.3.19))、Facebookから、またはFacebookを見て、という問い合わせや申し込みが増加した。

・日本語ボランティア養成講座は市の広報誌「広報いわた」への掲載、公共施設へのチラシの配架、ホームページ・Facebookでの告知、協会会員へのメール連絡等を行った。各戸配布の「広報いわた」を見ての申込みが一番多かったが、次いで教室関係者からの紹介、ホームページやFacebookを見ての申込み、協会会員からの申込みも数名ずつあった。

<事業成果の地域への発信等>

・事業の成果については協会Facebookで教室活動の報告を行った。また、協会会報誌(市内回覧、公共施設へ配架、会員や近隣の団体へ送付)に日本語教室や養成講座の様子を掲載した。

(6) 改善点、今後の課題について

・コロナウイルスの感染拡大状況に対して教室を対面で開催するかオンラインに切り替えるかの意見が教室の指導者・ボランティアの中でも分かれ、決定の判断を各教室でするのか協会で指針を出すのかについても様々な意見があり、対応がその時々で揺れた。今回のような感染症の流行時や災害時など、平常時ではない場合の教室開催判断についての決定の仕組みを、教室に参加する指導者・ボランティア合意のうえで整備していく必要がある。

・オンラインでの教室は実際にやってみると、ウイルス感染の心配がなく安心して参加できる、学習者とペアで話す場合など、他の参加者がいないので意外とじっくり話すことができた、など良い点もいろいろわかった反面、対面の場合と同じようにしようと思うと難しいこともあり、慣れないパワーポイントでの資料作成や学習者・スタッフへの連絡などの準備が大変といった意見も聞かれた。オンライン教室が気軽に開催できるように開催方法を整備したり、オンラインへの参加に慣れるように勉強会を開く、また対面でも安心して教室参加ができるように感染防止対策をさらに徹底するなどして、各教室の指導者・ボランティアがオンライン/対面どちらの開催方法でも対応できるような環境を整える必要がある。

・教室登録時に「オンラインの教室にも参加してみたい」としていた学習者でも、教室によっては実際にオンラインになると参加しない人がほとんど、というところもあった。うまくオンラインにスライドできるよう、何度か練習してみるといった丁寧な対応も必要だったのではないかな。

(7) その他参考資料

チラシ一覧

・いわたICE(磐田国際交流協会)地域日本語教室(マップ型開催日入り)

・ASSOCIAÇÃO DE INTERCÂMBIO INTERNACIONAL DE IWATA MAPA DO CURSO DE JAPONÊS DA REGIÃO DE IWATA

・西貝日本語教室 ♪たのしい にほんご♪

・LaLaにほんごきょうしつONLINE

・竜洋日本語教室

・ワークピア にほんご きょうしつ

・いわたICE(磐田国際交流協会)地域日本語教室 オンライン(マップ型開催日入り)

・ASSOCIAÇÃO DE INTERCÂMBIO INTERNACIONAL DE IWATA MAPA DO CURSO DE JAPONÊS DA REGIÃO DE IWATA ONLINE

・日本語ボランティア養成講座2020

・日本語支援者スキルアップ研修